



特集

市民協働が育む地域の活性化 ..... P2~5

おめでとうございます ..... P8~10

祝ご長寿 ..... P11

農業の手カラ ..... P12

でくてくウォーク ..... P19

まちの話題 ..... P20~21

花と緑の環境美化コンクール結果 ..... P22

ボランティアがんばってます!第7回 ..... P23

【常陸秋そばのふるさと】

平成24年(2012) **10** 月号

No.611





〔特集〕

# 市民協働が育む 地域の活性化

～ふるさとをみんなで盛り上げよう～



市内では、町会をはじめ各種ボランティアグループなど、数多くの団体が活発に活動しています。その多くはエコミュージアム活動や市民提案型まちづくり事業に取り組み、人・自然など地元にある資源を活用。今では、町内に限らず市内外や県外の皆さんと交流するまでになった団体、経済的な活動を行っている団体もあります。今月は、ふるさとを元気にするために活動する皆さんをご紹介します。

まちづくりの主役は皆さん一人ひとり。みんなの力を合わせて地域を盛り上げていきましょう。



# 耕作放棄地をそば畑へ

## 常陸秋そばの郷まもりたい

「常陸秋そば発祥の地・赤土町のそば畑を再生しよう」。平成22年3月、赤土町会での協議を経て結成された『常陸秋そばの郷まもりたい』。町会・老人クラブ・子ども会・ACC（赤土カントリークラブ）・常陸秋そば生産部会など地域の団体で組織され、これまでに50アールの耕作放棄地を耕し、そば畑に再生。また、クリムソクローバーを「赤土の花」とし、そば畑に植栽することで、秋の白いそばの花に加え、春には鮮やかな赤い花が咲き誇ります。さらに地域のお宝へ解説板・ベンチを設置したり、「収穫祭」や「白いお花見会」などのイベントも開催し、

今では市内のみならず、県外からの参加者もみられるほどです。今後は先月オープンした「かなさ笑楽校」との連携も期待されます。

大学生ボランティアにそばの種まきの仕方を教える



大学生ボランティアにそばの種まきの仕方を教える



白いお花見会では、そば畑を散策



絆を大切に地域おこし

常陸秋そばの郷まもりたい代表

海老根信夫 さん  
(赤土町)

3年前からそば畑の休耕地・放棄地を解消したいと思い、耕作放棄地50アールを町内4班に分けて管理しています。最初は、開墾し土壌改良するのに苦労しました。現在、四季を通してイベントを開催し市内外から多くの観光客が来てくれます。また、行政やボランティアと協力し地域の枠を越えた取り組みをしています。地域おこしで大事なことは、人と人の絆です。今後も魅力ある地域づくりを進めていきたいですね。

# 人気を集めるカブト虫の里

## 折橋芸(能・農)部

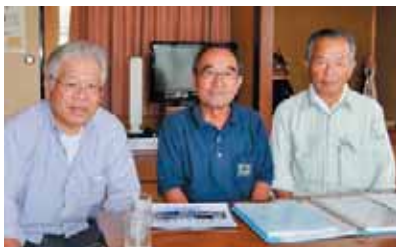
平成10年に地元の有志で結成された「折橋芸(能・農)部」。現在は40代から70代の男性11人で活動しています。その名のごとく、「芸能」分野では、敬老会での民舞披露、「芸農」の分野では、遊休農地でそばや小麦を栽培。さらに昨年、会員が育てていたカブトムシを震災の被害の大きかった気仙沼市の子どもたちに届けたのを契機に、カブトムシの飼育場・管理棟を建設し、今年は山林の中に「カブト虫の里」を整備。グリーンふるさと振興機構のツアーにも組み込まれるなど、好評を博しました。



今年7月、カブト虫の里に里美幼稚園児を招待。「来年は、カブトムシをより上手に育て、里美地区以外の学校等にも来てもらえるようにしたいと思っています」



敬老会では民舞を披露。お年寄りも大喜び



折橋芸(能・農)部

近藤文雄さん 佐川定雄さん 弓野征司さん

この夏にオープンしたカブト虫の里には、約700人のお客さんが来場、子どもさんからお年寄りまで大変喜んでいただきました。今後はその付近を整備して、小川で魚のつかみ取りやバーベキューなどもできるようにして、さらには宿泊もしていただいたりできるように考えてみたい。地域おこしの活動にはチームワークと人とのつながりが重要。いろいろな行事を催す中で、夢物語を語り合うことも必要ではないでしょうか。



# わくわく自然夢学校が大人気

## 持方集落

「地域のお宝探しからすべてが始まりました」と話す須賀川さん。今年の夏の「持方わくわく自然夢学校」には約130人の親子連れなどが市内外から参加。「募集人員を大きく超えていましたがうれしい悲鳴でした」。この夢学校は夏休みと冬休みの年2回開催し、今年で4年目。山歩きや川遊び、虫取りや流しそうめん、餅つきなどを行います。食事は特産のこんにやく、かぼちゃ・つけものなどをはじめ、地域の婦人部の方が手作りでおもてなしします。

その他「恵海<sup>めぐみ</sup>の森づくり」では海へきれいな水を流すための活動を行い、

久慈浜の方たちとも交流。また、里川町の皆さんとはそれぞれの行事に参加するなどの地域間交流が続いています。



地元で採れたトマトやゼリーも流れてきて、みんな大忙しの流しそうめん



川遊びでは沢がにや小魚をつかまえたよ



何もないからこそ、  
何かが生まれる

持方わくわく自然  
夢学校 校長  
須賀川悦久さん  
(上高倉町)

集落に住んでいる人は少ないですが、お互いに協力し合い、私たちにできることを無理なくやっています。平家落人の里として代々受け継がれてきたものを途絶えさせる訳にはいきません。地域おこしは多少誰かが犠牲にならないとできないのでは。今後はどんどん観光客に来ていただいて、集落の活性化につなげていきたいですね。地域が少しでも変われば、外にいる後継者も地元注目してくれるのではないかと思います。

# 農地・水保全管理支払交付金を活用した地域づくり

## 谷河原町会

数多くの活性化事業を行っていることで知られる谷河原町会。花壇整備や国道の道路里親事業、竹林コンサートを実施。また4年前から整備していた木道のある池・川づくりでは、今年2200本の花しょうぶが咲き、県内各地から見物客が訪れました。さらに、農林水産省の「農地・水保全管理支払交付金」を活用し、農道・用排水路の整備なども実施しています。

町内の道路整備についても、資材は市から提供を受け、作業は町内の皆さんが自ら行っています。危険な箇所ので溝へのふたかけも今年度で全部

終了する予定になっています。



農地・水保全管理支払交付金を活用し、用水路の敷設替えをしている地元の皆さん



「来年はもっと大きな園にします。10,000本の花しょうぶを楽しみにしてください」と篠原さん



知恵と行動でふれ  
あいランド構築へ

谷河原町会長  
篠原勝幸さん  
(谷河原町)

最近、お年寄りからも「地域が変わった、良くなった」という声が聞こえます。9年前の通学路拡幅から始まり、カーブミラーの設置、飲酒運転やゴミのポイ捨て禁止の看板設置などの安全安心の地域づくり、また農道整備など農業振興や花を生かした環境美化など、「谷河原ふれあいランド」の構築に向けて今後も頑張っていきます。

地域を良くしたいという思いを持って、まず行動し奉仕することが大切ではないでしょうか。



# 新たな地域コミュニティの創造

## 河内ネットワーク

河内地区では、昨年の大震災の被害を受けて、より地域の連携を強化しようという動きが広まりました。

今年1月には、地区内の町会、社協支部、体協支部、老人会、子ども会、消防分団、公民館、小・中学校PTA、各種文化団体などの代表者36人が集まり、意見交換会を実施。大震災時の行動確認や今後の災害時の対策を話し合いました。

7月には第2回を開催し、市役所の出前講座「地域防災」と「今後の地域コミュニティ」について受講。さらに意見交換を行い、様々な課題等につ



河内公民館長 同前館長  
森一史さん 根本伸之さん  
(町屋町) (町屋町)

地区内のそれぞれの団体は独自で活動しているのですが、横のつながりとなると弱い部分がありました。少子高齢化、人口減少が進んでいるこの地域は、横の連携を強化しなければ立ちいかない。現在は各団体の話し合いの場を持っているだけでも有意義であると考えています。何かあったときのために日頃から「地域力」を高めていく必要から、人と人とのつながり、普段からの付き合いを大事にしていきたいと思えますね。



地元住民の手作りで行われる「行灯の赤レンガと銀杏まつり」には、県外からも大勢の観光客が訪れる

いて議論を深めました。震災を契機に地区内の連携を模索しはじめた河内地区。少子高齢化や人口減少が進む中で、地域の課題解決に向けた新たな地域コミュニティが生まれようとしています。

# 経済活動への進展と都市間交流

エコミュージウム活動等が盛んな上

深荻町の河原野森林環境整備クラブ(田所美朗会長)は、平成15年に結成。地域の森林づくりや環境の整備、遊休地を活用した農作物の生産などを行っています。そばや小麦、まいたけやしいたけなども栽培し、地元の農産物直売所で販売するなど、収入を得ながら地域の活性化に取り組んでいます。

また、平成23年5月に設立された二孝女顕彰会(櫻井正美会長)では、200年前に実際にあった親子3人の孝行物語を広く伝えていく活動をしています。同年10月には、親子の出身地・臼杵市の「野津町きつちよむ史談会」の皆さんが本市を訪問し、交流を深めました。今年8月には、顕彰会を中心とした訪問団が臼杵市を訪ねたところ。さらに、二孝女物語の取り持つ縁から、本市と臼杵市との間で「交流促進協定」も締結され、各分野での相互支援関係に発展しています。



顕彰会が今年発行した小学生向けパンフレット

## 地域の元気づくりを応援！

### エコミュージウム活動の推進

地域のよさを見つけ、磨き、それらの資源を活用した交流や経済活動につながるような取り組みがエコミュージウム活動。地域活性化は、まず地域を知ることから町会で、グループで、まちづくりに興味のある方はお問い合わせください。

問 文化課エコミュージウム推進室 内線541

### 市民提案型まちづくり事業

自分たちの力で地域の課題を解決し、地域の活力を生み出そうとするグループや団体に、補助金を助成します。

\*平成24年度の募集は終了しています。来年度の募集は平成25年3月頃に行う予定です。

問 市民協働推進課(内線217・218)

### 市民活動保険

除草作業やボランティア活動など、市民活動団体等の活動中の事故やケガに対し、一定の補償を行います(事前登録が必要)。

### 備品貸出事業

町会や地域の団体がイベント等を行う際、テントや大型鍋、流し台、食器類などの調理用備品等を無料で貸し出します。

問 市民協働推進課(内線217・218)

### 町会活動支援交付金

町内清掃や祭、運動会、防犯活動、ボランティア活動などに要した費用に対し、一定限度の交付金を交付します。

問 総務課総務行政係(内線339)

### 地域おこし協力隊

様々な地域おこし活動の支援などを行っています。現在は里美地区に3人、金砂郷地区に2人配属されています。

問 企画課(内線314)



## 『大里2町』と『徳田町』でお宝探し

### 大里 いいもの探し隊！

8月25日、大里2町で久米公民館の協力のもと、地域資源を発掘するために、「いいもの探し」が行われました。約60人の参加者は5班に分かれて町内を探索。その結果、来迎院や前方後円墳、久米層の化石群、四季の郷の藤棚などが大里2町のいいものとして発表されました。

参加者からは、「暑かったけれど、楽しかったです」「初めて通る道があり、思いがけない発見をしました」「地元に住んで70年になるが、知らなかったものが多く新たな発見がありました」などの感想がありました。



来迎院の境内にある石碑にも注目



道端に石仏を見つけたよ



午後はいいもののマップづくり



子どもたちも発表しました

### 徳田お宝さがし隊！

8月26日、徳田町で地域のお宝さがしを実施されました。参加した約80人は3班編成で町内を探索し、それぞれの班でお宝を発見しました。

猿喰のケヤキや水力発電所、集会所のお宝（数珠づくり、十九夜様）などが、お宝として発表されました。

参加者からは、「いつもの道から1本入っていくと色々なものがありおどろきました」「生活に関わる神社などがたくさんあり、昔の村の生活の信仰などを垣間見ることができ興味深かったです」「今でもお祭りなどに使われているのもおもしろかった」などの感想がありました。



国登録文化財「小里川発電所」



福島県との境にある「境神社」



数珠づくりを体験！



地域にはお宝がたくさんあるね

## ちょっと寄り道

今月は木崎一町

### 下井水神宮



（平成16年）に改修し、今日に至っています。

かつては近隣住民や歩行者の飲料水、生活用水として利用されましたが、現在は開発が進んだ影響で水量も減り、水波能売命（みずのはじめのみこと）を祭る水神様として、旧暦6月18日夜町として引き継がれ今日に至っています。

下井水神宮は、旧市街鯨ヶ丘の下井戸坂にあります。鯨ヶ丘には古来七井と呼ばれる井戸があり、滝の井、十王井、紫岸井、金井、猿ヶ井、観蔵井、そして下井の七つです。この下井は、1857（安政4）年水神様が祭られ、1934（昭和9）年に地元住民によって祠と石碑が建てられました。その祠も70年の時代の流れで老朽化し、2004

来月は木崎一町の「ち」つながりで、茅根町さんをお願いします。



紹介者  
木崎一町  
石井 勝三 さん





# ひたちおおたの文化財見どころガイド

問文化課文化財係  
( 72-3201 )

例年 10 月に行う「集中曝涼」<sup>ばくりょう</sup>。今年も 10 月 20 日土 ~ 21 日日に開催します。



木造千手観音立像



菊蓮寺

## ココも見どころ

菊蓮寺本堂に向かって右側、客殿の裏手には 2 本の大ケヤキが静かにそびえ立ちます。樹齢 300 ~ 500 年、幹の周囲の太さは約 6 ~ 7 m。境内の小径を抜ければ簡単にたどり着くことができます。

上宮河内町の閑静な山あい<sup>まぐれんじ</sup>に位置する菊蓮寺は、大同 2 (807) 年の開山で、舍利山三光院菊蓮寺と号する浄土宗の寺です。山門脇に建てられた収蔵庫には、県指定文化財の木造千手観音立像をはじめとした仏像群<sup>だいどう</sup>が収められ、現在も大切に受け継がれています。中でも今年の集中曝涼チラシにもなっている千手観音立像は高さ 3.5 m、県内第 2 位の大きさを誇る巨像で、その存在感は見るものすべてを圧倒します。

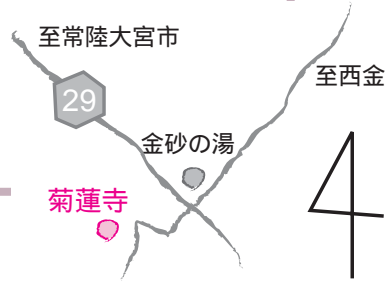
仏教における千手観音は、一切衆生(生きとし生けるものすべて)を救済する仏であり、どんな小さな命でさえも漏らさず救いとるため、数多くの腕をもった姿をしているとされます。鎌倉時代初期の作である菊蓮寺の千手観音立像も、悠久の時の中を、常に穏やかな表情をたたえながらその掌を差しのべ、数多くの人々の不安を和らげ、安らぎを与え続けてきました。

また、脇侍の不動明王と毘沙門天・女神像は平安時代の作で、千年を超える時を経て皆さんを迎えてくれます。

\*「曝涼」とは、文化財を日にさらして風を通す、いわゆる虫干しすることで、それにあわせて文化財を一般公開します。

至常陸大宮市

至西金砂神社



## —連載— 伝えたい技がある

その四

# 金砂田楽

Kanasa - dengaku

格調高い民俗芸能

西金砂神社(上宮河内町)と、東金砂神社(天下野町)に伝わる田楽舞は、国選択・県指定の無形民俗文化財になっています。その起源は平安時代にまでさかのぼり、72年に1回、日立市水木浜まで渡御する磯出大祭礼では、道中でこの田楽舞が奉納されます。大祭礼では天下泰平・万民豊樂・五穀豊穡の祈願を目的に、6泊7日をかけて往復約80kmの行程を神輿と大行列が進みます。

また、西金砂神社では、丑年と未年に小祭礼も行われており、中染・和田・馬場で田楽舞が奉納されます。さらに、町田火消行列など、大祭礼では行われない行事も行われます。

東金砂神社では、毎年2月11日に嵐除祭が境内の田楽堂で行われ、護摩火を焚いて餅の焼け具合で吉凶を占い、氏子らが東西に分かれて田楽堂の羽目板を打ち抜き、東が早ければ浜大漁、西が早ければ岡豊作と伝えられる行事に続き、田楽舞が奉納されます。

1千年以上の歴史を刻む素晴らしい民俗芸能。それが金砂田楽です。



町田火消行列。独特の動作と掛け声で行進



東金砂神社田楽舞は四段構成。第一段 四方固め、第二段 獅子舞、第三段 巫女舞(写真)、第四段 三鬼舞



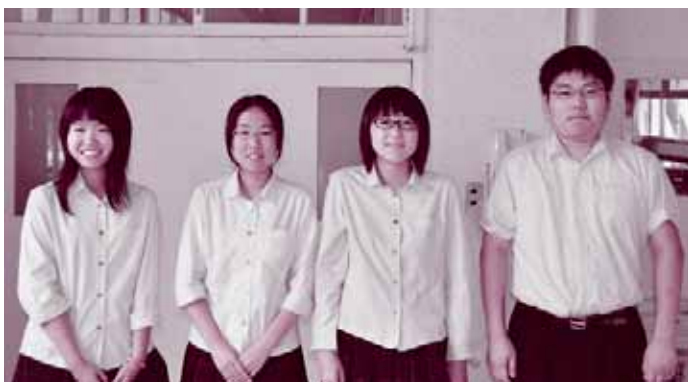
西金砂神社田楽舞は四段構成。第一段 四方固め、第二段 獅子舞、第三段 種子まき、第四段 一本高足(写真)



**太田一高 棋道部**

全国高等学校囲碁選手権大会に出場

全国大会に  
出場



(左から)滑川なつきさん、瀬谷夏美さん、會澤瑞季さん、関根侑哉さん

関根侑哉さん(個人戦)「全国大会には出場しましたが、良い結果は得られなかったのが、大学生になってからもっと力をつけていきたいと思います」

滑川なつきさん(団体戦)「初めての全国大会は緊張しましたが、強い人と対戦できたり、対戦終了後にアドバイスあったりして、とても楽しく良い思い出になりました」

瀬谷夏美さん(団体戦)「全国大会に出場でき本当に光栄です。始めて2年と短いですが、努力が報われました。生涯を通し囲碁を楽しみ腕を磨いていきたいです」

會澤瑞季さん(団体戦)「約1年しか部活をしていない私が全国大会に出場できるとは思ってもみませんでした。囲碁を通して培った経験や集中力を今後の生活に生かしていきたいです」

**太田一高 石川春奈さん  
文芸部 中西優貴さん**

全国大会に  
出展  
関東大会に  
出展

全国高校総合文化祭に出展(石川さん)  
関東高校生文芸大会に出展

石川春奈さん(詩・俳句)「全国のレベルは想像よりはるかに高く、負けていられないと感じました。高校最後の夏、貴重な体験ができて本当に良かったです」



石川さんⓄと中西さん

中西優貴さん(俳句)県大会や文芸部内では味わえない刺激をたくさん受けてきました。その刺激を基に、より高みを目指して作品を作っていこうと思います」

**太田一高 木村隼人さん  
定時制・ソフト  
テニス部 若山歩夢さん**

全国大会に  
出場

全国高等学校定時制通信制体育大会  
ソフトテニス大会に出場



若山さんⓄと木村さん

「県大会で決勝まで勝ち進めるとは思ってもいませんでした。試合で勝てたのは、お互いに弱点を補いながら二人で協力できた結果だと思います。全国大会でも協力し、1勝することができました。3回戦で負けてしまいましたが、持っている力を出し切り、楽しい試合をすることができました」

**太田一高 陸上部**

関東高等学校陸上競技大会・関東陸上競技選手権大会に出場

関東大会に  
出場



【後列左から】大貫拓人さん、木村一磨さん、中振歩美さん(4×100mリレー/4×400mリレー) 片根凧彩さん(4×100mリレー/4×400mリレー)

【前列左から】佐藤志穂美さん(4×100mリレー/4×400mリレー) 鯉淵彩花さん、竹越智里さん、大森結加さん

大貫拓人さん(5000m)「レベルの高い関東大会に出場でき自己ベストが出せて良かったです」

木村一磨さん(8種競技)「目標としていた関東大会に出場することができ良い思い出になりました。」

鯉淵彩花さん(4×100mリレー/4×400mリレー)「新メンバーになったばかりで練習時間は短かったけれど、持ち前の明るさと絆で関東大会に出場でき、いいスタートがきれたと思います。練習すればまだまだ伸びるので、一日一日の練習を大切にこれからも頑張っていきたいです」(リレーメンバーを代表して)

竹越智里さん(1500m)「ずっと目標にしていた関東大会に出場でき嬉しかったです。今までたくさん努力してきた本当に良かったです。一緒に練習してきた陸上部のみんな、顧問の藤沢先生や親に感謝でいっぱいです」

大森結加さん(200m/400m/4×100mリレー/4×400mリレー)「憧れていた舞台上で走り、今の自分の力は関東では通用しないことが分かりました。まだ自分には関東に行くチャンスがあるので、今まで以上に努力して関東でも戦えるような選手になりたいです」



佐竹高 宇須井美佳さん

関東大会に  
出場

関東高等学校弓道個人選手権選抜大会に出場



「県大会では16射10中。関東大会では信じられないような緊張とプレッシャーがあり、練習の成果を出し切ることなく終わってしまい残念でした。関東大会後は今まで以上に1本1本を大切に、考えながら練習に取り組むようにしています」

佐竹高 堅野里桜さん

関東大会に  
出場

関東陸上競技選手権大会 女子 10,000m に出場



「普段は800～3,000mを中心に走っています。関東大会には10,000mで出場し、とてもきつかったけれど、走り終えた後は充実感を感じました。卒業後は大学に進み、陸上を続けていきたいと思っています」

2012 国際園芸  
博覧会に参加



今年4月からオランダで開催された世界最大の花の祭典「2012 国際園芸博覧会（フロリアード2012）」に、内田町の

大内広明さんが茨城県から研修生として約2カ月間参加し、園芸コンテストにシクラメンを出品しました。

この大会は、いわば花のオリンピックで、10年に1度の開催。参加した大内さんは「海外でも日本の品種は可能性や将来性があり、工夫次第で十分通用すると感じ、大いに勉強になった。今後10年は、園芸の金メダルを目標に自身のオリジナル品種作り挑戦していきたい」と意気込みを話した。



出品されたエルフィンマーブル<sup>㊦</sup>とファルファール<sup>㊦</sup>

救急医療現場で活躍

9月9日の救急の日および救急医療週間にあたり、消防本部において永きにわたり救急医療現場で活躍されている6人の方々に対して、救急医療功労者表彰を行いました。

表彰を受けたのは次の方々です。

川崎病院 佐田恭子さん（前列右）

大山胃腸科外科病院 寺門直美さん（前列中央）

西山堂病院 小林美枝子さん（前列左）

脳神経外科ブレインピア南太田 石井寿江さん（後列左）

佐竹南台菜のはなクリニック 梅原崇美さん

根本医院 井坂照子さん（後列右）

今後益々のご活躍が期待されます。





太田中 鈴木聖弥さん

瑞竜中 黒羽優樹さん

県北選抜チーム（監督：埴寿昭  
太田中教諭）の一員として全国

峰山中 鈴木敦也さん

峰山中 三井大輝さん

少年軟式野球大会に出場 **全国大会出場**



鈴木 聖弥さん



黒羽 優樹さん



鈴木 敦也さん



三井 大輝さん

「選抜チームでは、高いレベルの中でプレーができたり、友達が増えるなど良い経験になりました。日本一を目指していたので、2回戦で敗れたのは悔しかったです。高校では甲子園を目指します」

「会場の横浜スタジアムでは、声援の大きさやスタンドの迫力など、全国大会の雰囲気を楽しむことができました。今後は体を作って高校でも野球を続け、良い成績を収められるよう頑張ります」

「全国大会では相手に威圧感を感じて緊張してしまいましたが、チームメイトに声をかけることを心がけプレーしました。オール茨城にも選ばれたので、10月の大会では、レギュラー目指して頑張ります」

「県北選抜で他チームの選手と一緒にプレーできうれしかったです。県代表というプレッシャーがありましたが、支えてくれた先生のためにも頑張りました。高校では甲子園でヒットを打ちたいです」

瑞竜中 福島正訓さん  
片根洋平さん

関東大会に  
出場

関東中学校体育大会 1年男子 1,500m に出場



片根さん④と福島さん

福島正訓さん「県大会では積極的に走り2位に入りました。関東大会では納得のいく走りができなかったので、10月末のジュニアオリンピックでは良い走りしたいと思います。今後は関東大会などの大きな大会で入賞できるよう頑張ります」

片根洋平さん「県大会は3位でした。関東大会では緊張などから自分の走りができず、悔しい思いをしました。これからもっと練習して、また関東大会に出て入賞したいです」

水府中 会沢紘太さん

関東大会に  
出場

関東中学校体育大会 共通男子 3,000m に出場



関東大会で力走する  
会沢さん④

「関東大会では、周りの選手が速かったり、緊張などで自分の走りができませんでした。高校では、インターハイを目指したいです」



太田中 弓道部

関東中学校体育大会に出場

関東大会に  
出場



(左から)長山優希さん、鈴木楓也さん、木村栄一さん、関根祐也さん

木村栄一さん

「関東大会は海外研修で欠場しましたが、県大会では3位になり自分の実力がわかりました。今後さらに精進して全国大会を狙います」

長山優希さん

「初めて出場して緊張しましたが、自分の射ができてよかったです」

鈴木楓也さん

「最後まで自分の力を発揮できてよかったです」

関根祐也さん

「関東大会では8射5中。あと少しのところ個人戦の入賞を逃し、悔しかったです。もっと実力をつけたいと思いました」



# 祝 ご長寿

わが国の100歳以上の方は、昭和38年には全国で153人でしたが、現在5万1千人を超えています。

本市では、9月1日現在で100歳を迎えた方が19人、101歳以上の方は38人いらっしゃいます。市内の最高齢は、石井はなさん（久米町）の106歳です。また、80歳以上の方は6239人で、まさに長寿のまち・常陸太田の姿をよく表しています。ここでは、敬老の日に当たり、大久保太一市長が訪問して長寿を祝したお二人をご紹介します。

市では敬老祝金として、今年度80歳になられる方に5千円、88歳（米寿）に1万円、99歳（白寿）に2万円、100歳以上に3万円を支給しています。問 高齢福祉課（内線144）



10月で100歳に  
和田四郎さん  
(下大門町)

お祝いをいただき名誉この上ありません。100

歳の長生きは真似をしようとしてもできないことで私の運命。家内をはじめ家族を大事にすることが何より大切だと思います。



8月で100歳に  
菊池於ふてさん  
(天下野町)

(大久保市長の訪問に際し)お祝いのことばを

いただき、皆さんありがとうございます。今日は市長さんはじめ大勢でご訪問いただき、本当にありがとうございました。

地区	常陸太田	太田	機初	西小沢	幸久	佐竹	誉田	佐都	世矢	河内	金砂郷	久米	郡戸	金郷	金砂	水府	山田	染和田	天下野	高倉	里美	小里	賀美	合計
80~99歳	3370	751	307	257	261	360	507	218	505	204	1334	321	316	433	264	918	227	350	209	132	579	347	232	6201
100歳)	19	5	0	1	3	4	3	0	3	0	10	1	1	5	3	6	1	3	2	0	3	1	2	38
計	3389	756	307	258	264	364	510	218	508	204	1344	322	317	438	267	924	228	353	211	132	582	348	234	6239

(平成24年9月1日現在 住民基本台帳集計)

## 健康でいこう

## インフルエンザにご注意!

今年もインフルエンザが流行する時期を迎えようとしています。毎年流行を繰り返すわが国最大の感染症の一つのインフルエンザの予防法を紹介します。 問健康づくり推進課 73-1212

### 正しい予防法は?

**手洗いをする** せきやくしゃみを手で押さえたり、不特定多数の人が触る物に触れたりした後は手洗いを。

**うがいをする** うがいは口やのどを洗浄し、のどの粘膜を潤して、ウイルスへの防御機能を高めます。

**マスクを着用する** のどに湿気を保ち、ウイルスの侵入を防ぐことが目的。また、感染した人のせきやくしゃみによるウイルスの飛散を予防します。使い捨てマスクが推奨されています。

**外出を控える** 一番の予防策はウイルスに近づかないことです。

**抵抗力をあげる生活習慣** 栄養バランスを良く。睡眠を十分にとり、疲れはその日のうちにとる。適度な運動で抵抗力アップ。ストレスをため込まない。禁煙する。

**環境や服装等** 室温は20前後、湿度は50~60%、換気を心がけましょう。手袋やマフラーを利用したり、体温調節しやすい服装(脱ぎ着しやすい)にしましょう。

### 予防接種でインフルエンザ予防!

市では、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成しています。

対象者	助成額	回数	実施期間
1歳~小学6年生	1,000円(1回当たり)	2回	10月15日から 12月末
中学生		1回	
65歳以上の方	2,000円	1回	
60歳~65歳未満で内部障害者手帳1級程度の方			






# 上手にリサイクル

Check!!

8月から始まった「資源物・燃えないごみ」の無料回収。ごみを資源として再び利用するためには、正しい分別が大切です。「これは何ごみ？」など、ふだんお問い合わせの多いものをピックアップしてみました。あらためて確認してみましょう。 問環境政策課環境企画係（内線 109・110）

色付きのペットボトルの分類は？

リサイクルマーク  が付いているものは「ペットボトル」。付いていないものは「燃やすごみ」です。



故障したライターなどでガス抜きができない場合は？

ガス抜きができない場合でも、そのまま「その他の燃えないごみ」で出してください。

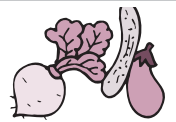


充電式電池など（ボタン電池・ニカド電池など）の回収は？

原則として購入した販売店に処理を依頼してください。その処理が難しい場合は、「乾電池」で出してください。

スプレー缶などのガス抜き器、ペットボトルつぶし器を各集積所に配置してほしい。

器具類の集積所への配置は考えていません。なお、ガス抜きは、市販の器具などで各家庭で行ってください。



## 農業のチカラ



山本健次さん

（国安町）

食を支える農業にスポットをあて、農業者の皆さんの意気込みを伝えていきます。



柿作りについて語る山本さん

今回は、JA茨城みずほ水府柿部会の「常陸柿匠・星霜柿（ひたちかきしよう・ほししもがき）」の生産者である山本健次さんにお話を伺いました。

この柿は昨年JA茨城みずほブランド化を進めたもので、樹についたままでアルコールによる渋抜き（樹上脱渋）を行い、カリカリの食感が特徴の柿です。



### 製品として品質のよいものを

ぶどう・梨のような棚を作らなくても、狭いところで栽培できるような果樹として柿を選択しました。畑を見ていただけると分かると思いますが、低

樹高化して脚立を使わなくても作業できるようにしています。柿も植えっぱなしではダメで、手間をかけないと良い柿はできません。

### 常陸柿匠・星霜柿のブランド化へ

1本1本盆栽と同じように剪定で形を整えて、3回ほど粒を落として大きくします。数を生らせ過ぎると落下が多くなるので、柿1個につき葉が20枚以上になるような適量を心がけ、きちんとした管理で製品化しています。また、JA茨城みずほで研修会や視察も行い、常に品質向上を図っています。

さらに、茨城デザイン振興協議会と協力し、デザインも新たにしました。

常陸太田のぶどう・梨のシーズンの後に星霜柿とつながるようがんばりたいと思います。ほとんどは直売所での販売ですが、10月末には柿狩りのイベントも予定しているの皆さんぜひお越しください。



JA茨城みずほの研修会

## 地域おこし協力隊がゆく!!

# つながりぼん

私たちが地域おこし協力隊です!

【 】は主な活動場所 【 】は地域おこし協力隊員



笹川 貴史子

石川 明紗

長島 由佳

【里美地区】

野崎 真衣

【金砂郷地区】

## 茨大・里美 café in あおぞらクラフトいち ★

～ 茨大生と里美の魅力を発信 ～

茨城大学の学生5人が里美の魅力を発信しようと、6月から毎月1度里美地区を訪問してくれています。その名も『茨大・里美 cafe チーム』。私たちルリエは毎月の受け入れとスケジュール管理などを行い、学生と連携して活動中。これまで計4回の訪問では、「里美の日」の補助や農作業などをしてもらいました。

また、学生たちは水戸市を拠点に里美をPRしたいということで、9月15日(土)・16日(日)に水戸芸術館で開催された「あおぞらクラフトいち」に出店しました! イベント出店が初めての彼らでしたが、自分たちが見てきた里美地区の魅力や活動内容をまとめたパネルを作ったり、メニューの試作を繰り返すなど、連日夜遅くまで準備。当日は学生たちが実際に里美の畑で育てているニンジンを使用したパンケーキ、2軒の農家さんのニンジンジュース、里美珈琲、木工品の販売を行いました。ニンジンジュースは大好評で2、3度買いに来た方もいるくらいです(^\_^)もちろん、パネルを使用して里美のPRもたくさんできました。ルリエとしても近隣地域で活動できたことはとても大きな一歩となりました。これからも学生たちと共に活動を展開していきたいと思えます



学生手作りのニンジンのパンケーキ<sup>Ⓢ</sup>と廃材を利用したフクロウ



里美 cafe チーム!!

## 金砂郷にて「旅のカフェ」を実施 ★

9月8日、県主催の観光事業の一つ「旅のカフェ」が金砂郷地区で行われました。当日のプログラムは、雪村うちわ・西光寺見学、菊蓮寺訪問、名のない滝の見学、西金砂神社散策、読み聞かせサークルおむすびの会による「金砂山と姉妹姫」の紙芝居、そばの花散策、さらに一日の感じたことをみんなで共有するトークセッションなどが行われ、盛りだくさんの内容でした。金砂郷の美しい情景ひとつひとつを参加者の皆さんに味



金砂ふるさと体験交流施設「かなさ笑楽校」をご利用ください

わっていただけたと思います。今回旅のカフェツアーを金砂郷で実施していただいたことで、金砂郷にある地域資源の付加価値を参加者のみなさんに知ってもらう・認めてもらう貴重な機会にもなりました。これから「かなさ笑楽校」の体験メニューなどを考える際にも活かしていけそうです



おむすびの会による紙芝居披露



お母さん達が作った金砂郷の恵みでおもてなし

## ルリエ(常陸太田市地域おこし協力隊)とは?

「地域おこし協力隊」は、平成21年度から始まった総務省の事業で、都市圏の住民が1～3年間、過疎地域に住民票を移し地域で生活しながら、農林漁業の応援、水源保全・管理など様々な地域協力活動をしていきます。

ルリエのBlog \* <http://ameblo.jp/ykm-satomi3103/> 「ルリエ」は、フランス語で「つなぐ・むすぶ」という意味



# 里まち交流掲示板

## 秋田市・仙北市と災害時の相互応援協定を締結

常陸太田市・秋田市・仙北市の三市連携交流提携5周年記念式典が、9月8日、秋田県の仙北市において開かれ、三市間で「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

この協定は、昨年の東日本大震災を受けて、被災市のみでは十分な救護等の応急措置ができない場合、三市間で物資・資機材の提供や職員の派遣等を行い、復旧活動を相互に応援するものです。

三市連携交流は、佐竹氏ゆかりの常陸太田市・秋田市・仙北市の三市が幅広い分野で市民を中心に友好を深め、それぞれの市民が互いの歴史



固い握手を交わす大久保市長と穂積秋田市長、門脇仙北市長(左から)

を再認識し、各市の活性化を目指します。

## 市民交流団が秋田市・仙北市を訪問

9月7日～9日、三市連携交流の一環として、本市の市民交流団(27人)が秋田市と仙北市を訪問しました。

秋田市では佐竹氏ゆかりの天徳寺や久保田城址などを、仙北市では角館武家屋敷や角館のお祭りなどを見学。

また、8日に開かれた三市連携交流提携5周年記念式典にも出席し、秋田市民、仙北市民と懇談を行い、交流を深めました。

参加者は、「常陸太田と秋田をつなぐ佐竹氏の歴史を学べてよかった」、「交流によって秋田が身近に思えるようになった」と友好がさらに深まった様子でした。



角館の有名な「曳山づつけ」

# TOPICS

City events Hitachiota

## 未来を拓く中学生を海外派遣

8月1日～8日、市中学生海外研修派遣事業により、市内の中学生24人がオーストラリアのケアンズおよびその近郊を訪問しました。

現地ではホームステイや学校訪問などをとおし、英語や現地の文化を学ぶとともに、多くの人々とふれあいました。生徒たちは「ホストファミリーのやさしさに感動した」「もっと英語を学んで日本と



外国の架け橋になりたい」「貴重な体験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱい」「これからも挑戦する心を忘れずに頑張りたい」などと感想を述べていました。

## 全国市町村長サミット

### 大久保市長が講演

全国の市町村長が「地域力創造」をテーマに意見交換を行う全国市町村長サミット(総務省主催)が、9月3日、香川県高松市で開催されました。本市からは、大久保太一市長が出席し、本市の先進施策について発表を行いました。

同サミットは、人口減少による地域の活力低下などの課題について、全国の市町村長が一堂に会し、先進施策の情報共有や意見交換を行うことを目的として毎年行われているものです。



冒頭に、東京大学の濱田純一総長が基調講演を行った後、三つの分科会が開催。大久保市長は、「域学連携 地域づくり」分科会に出席し、本市の紹介のほか、現在取り組んでいる「Eコマニュージム活動」による地域づくり、域学連携地域づくり(大学生が本市で体験学習や地域資源の調査等を行うことで大学の単位が認定される仕組み)および地域おこし協力隊による地域づくりの3点について事例発表を行い、分科会のコーディネート、他の出席市町村長などと意見交換を行いました。



# 第4回市議会定例会

第4回市議会定例会が9月5日から24日まで開かれました。平成23年度一般会計決算ほか、7特別会計・2公営企業会計決算の認定、平成24年度補正予算などの議案が提出され、いずれも原案どおり可決・承認・同意されました。

## 【報告】

平成23年度決算に基づく健全化判断比率：平成23年度決算では、本市は実質収支が黒字であり資金不足がないため、健全化判断比率は早期健全化基準を下回っており、健全な財政として報告

平成23年度決算に基づく資金不足比率：平成23年度決算では、各特別会計で実質収支が黒字であり、資金不足比率の数値は発生していないため、健全な財政として報告

## 【専決処分】

平成24年度一般会計（第4号）：放射性物質除染・仮置場設置工事費1億1431万4千円を追加

## 【条例の一部改正】

市営住宅の設置及び管理に関する条例：地域の自主性

及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行等に伴う改正

市火災予防条例：対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令の施行に伴う改正

市防災会議条例及び市災害対策本部条例：災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴う改正

県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更：住民基本台帳法の一部改正に伴う変更

市道路線の廃止

道路現況調査等に伴う839路線

## 【協議】

市道路線の廃止

## 【市道路線の変更】

道路整備および道路現況調査等に伴う16路線

## 【市道路線の認定】

道路整備および国県道移管等に伴う18路線

## 【平成23年度決算認定】

一般会計、特別会計、公営企業会計：詳細は次号に掲載

## 【平成24年度補正予算】

一般会計（第5号）：東日本大震災被害対策費、里美統合小学校設計業務委託料、金砂郷統合中学校調査測量設計業務委託料など6億6325万1千円を追加

一般会計（第6号）：緑の分権改革調査事業費1837万5千円を追加

国民健康保険特別会計（第1号）：歳計剰余法定積立金など2億6098万円を追加

後期高齢者医療特別会計（第1号）：174万2千円を減額

介護保険特別会計（第1号）：860万9千円を追加

下水道事業特別会計（第2号）：687万9千円を追加

農業集落排水事業特別会計（第1号）：1548万1千円を追加

戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計（第1号）：93万1千円を追加

簡易水道事業特別会計（第2号）：230万3千円を減額

水道事業会計（第2号）：267万7千円を追加

工業用水道事業会計（第1号）：32万2千円を追加

固定資産評価審査委員会委員の選任：古川正美氏（東二町）の選任に同意

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任：古川正美氏（東二町）の選任に同意

## 【議員提案】

常陸太田市議会基本条例の制定：常陸太田市議会が将来にわたって市民の負託に的確に応えられる議会を目指す、取り組みことを決意するため、議会の最高規範として本条例を制定



常陸太田市議会基本条例の制定：常陸太田市議会が将来にわたって市民の負託に的確に応えられる議会を目指す、取り組みことを決意するため、議会の最高規範として本条例を制定

教育予算の拡充を求める意見書の提出：教育の機会均等と水準の維持向上および東日本大震災における教育復興のため、教育予算を確保・充実するよう政府に要望



子どもの笑顔を守るために

# 児童虐待の防止！

問子ども福祉課（内線145）

児童虐待は子どもの成長・発達にとって悪影響を与えるばかりか、時には子どもの命に関わる深刻な問題です。いち早く発見し、支援の手を差しのべるために、社会全体の協力が求められています。

## 【児童虐待の種類】

- 身体的虐待** 児童の身体に外傷が生じ、または生じるおそれのある暴行を加えること。
- 首を絞める、殴る、蹴る、投げ落とす、やけどさせる、溺れさせる、激しく揺さぶる など
- ネグレクト** 児童の心身発達を妨げるような著しい減食、長時間の放置など、その他保護者としての監護を著しく怠ること。
- 家に監禁する、食事を与えない、子どもを車の中に放置する、病気になる

ても病院に連れて行かない など

**心理的虐待** 児童に著しい心理的外傷を与えること。

言葉で脅す、子どもの心を傷つけることを言う、無視したり拒否的な態度をとる、きょうだい間での極端な差別的扱いをする など

**性的虐待** 児童にわいせつな行為をすること、または児童にわいせつな行為をさせること。

性的ないたずらをする、性的関係を強要する、ポルノグラフィーの被写体などを子どもに強要するなど



「虐待かも？」と思ったら  
通報することが  
国民の義務です

皆さんの目からみて「おかしい、やりすぎではないか」と思う場合は、早めに児童相談所や子ども福祉課、または民生委員児童委員を通じて相談・通告しましょう。

虐待でなかったとしても、  
通告者に責任  
はありません

通告者が誰であるかを教えることはありません。  
通告は匿名でもかまいません。

育児などで困ったときは  
一人で悩まず相談を

家庭は子どもの健全育成の基盤であり、人格形成にとって大きな影響を及ぼすものです。家庭児童相談室では、専門の相談員が、しつけ、適性、養育、非行、性格など、家庭における子どもの養育に関し、さまざまな相談に応じています。

## 【家庭児童相談室】

とき 月～金曜 午前9時～午後4時  
ところ 市役所本庁1階  
子ども福祉課内（内線145・161）



家庭児童相談室の富永正壽相談員⑤と金澤眞理相談員

## 【その他の相談窓口】

福祉相談センター 0294-220294 (0294)	子育てに関する相談全般、児童心理判定員による面接助言など
各地域の民生委員児童委員	福祉サービスに向けた情報提供、助言・援助など
いばらき虐待ホットライン 0293-0293 24時間受付	子どもが虐待されていることに気付いたり、子育てに困ったり、虐待しそうになったら連絡を

みんなで行こう！  
秋のおまつり

あきあきしません、常陸太田の秋。

里美かかし祭

とき 10月27日(土)・11月24日(土)

ところ 里美ふれあい館イベント広場



農業のシンボル・田の守り神として親しまれてきた手作り「かかし」のコンテスト。約1カ月間展示され、多くの人で賑わいます。

問里美産業建設課 (82 2770)

竜神峡紅葉まつり

とき 11月1日(木)・11月30日(金)

午前8時30分～午後5時

ところ 竜神大吊橋周辺



常陸秋そばの新そばフェア/秋の味覚物産市/そば打ち体験教室/スタンブラリー/11月13日は渡橋料無料

問水府産業建設課 (85 1116)

常陸秋そばフェスティバル

とき 11月10日(土)・11日(日)

午前10時～午後3時

ところ 宮の郷工業団地



新そば食べ歩き/特産物直売/そば打ち体験教室など

11月9日(金)には常陸太田駅前、新そばを楽しむ前夜祭を開催

問金砂郷産業建設課 (76 2117) / 前夜祭は商工観光課 (内線623)

常陸太田秋まつり

とき 11月17日(土)・18日(日)

午前10時～午後3時

ところ 鯨ヶ丘商店街(東一・二・三町)



鯨ヶ丘商店街を舞台に常陸太田市の秋を楽しむ地元特産品販売・久自楽舞など、盛りだくさんのイベントを開催します。

問商工観光課(内線623)

さとみ秋の味覚祭

とき 11月3日(土)・4日(日)

午前10時～午後4時

ところ

里美ふれあい館イベント広場

特産物即売会/千人鍋コーナー/屋外ステージでのイベント など

問里美産業建設課 (82 2770)

里美カントリーミュージックフェスティバル  
里美新そば祭

とき 11月10日(土)・11日(日)

10日は午前10時半～午後4時  
11日は午前10時～午後1時

新そば祭は、両日とも午前10時～午後2時30分

ところ

里美ふれあい館イベント広場

県内外のバンドが軽快で陽気な音楽を演奏/手打ちそばの実演・販売

問里美産業建設課 (82 2770)



第26回  
都々逸全国大会

とき 11月17日(土)午前9時

ところ

生涯学習センターふれあいホール

常陸太田市に深い関わりを持つ都々逸(とつゆえん)が確立された都々逸を、文化遺産として保存・普及するため、都々逸全国大会を開催します。

一部(唄)課題曲「磯部たんぼのばらばら松は風も吹かぬに気がもめる」と自由曲(二部)(作詞)一般・少年の部に分かれ、課題の折込句「こ・そ・だ・て(子育て)」と自由句



問パルティホール

73 1 2 3 4





温かいご支援・ご協力、  
ありがとうございます。

皆さんからいただいたご厚意は、  
大切に使用させていただきます。

東日本大震災義援金（8月28日～9月21日受入分）

団体・法人

太田中学校（体育祭の募金活動）様

1万3533円

義援金累計

9822万3291円

善意ありがとうございます

河内の文化遺産を守る会様 旧町屋

変電所の災害復旧のため 10万円

匿名の方 文化財の災害復旧のため 100万円

ふるさと常陸太田（8月28日～9月21日受入分）

ふるさと納税により、寄附をいただいた方です。

匿名の方（栄町） 5千円（地域の元気づくり）



スポーツフラッシュ

（敬称略・丸数字は順位）

第54回市青少年防犯柔剣道大会「8月26日/水府海洋センター」

【柔道団体】

小学生 金砂郷A 水府A 金砂郷B 水府B 中学生 水府A

【柔道個人】

幼、小学1・2

年 古川翼（水府） 木村美優（水府） 小学3・4年男子 平塚龍生（太田） 宇野沢流星（水府） 小学3・4年女子 青砥里菜（金砂郷） 小学5・6年男子 田村凜太郎（金砂郷） 増子陸斗（水府） 鈴木奨（太田） 小森雄貴（水府） 小学5・6

年女子 木村綾乃（水府）

中学男子 瀬谷涼太（太田）

生田目孝太（里美） 中学女子 後藤美咲（水府）

【剣道団体】 小学男子 里神館A 河内少年剣道会 里神館C 里神館B 中学男子 里美中 南中 青藍会 太田中A 中学女子 里美中

【剣道個人】 小学男子 柳橋昌治（里神館） 石井哲也（小里剣道スポーツ少年団） 泉妻昂佑（里神館） 春山勇（里神館） 小学女子 佐久間順菜（里神館） 大部ひかり（里神館） 中学男子 掛札拓雅（青藍会） 矢部奨弥（太田中） 高島樹（里美中） 上藤杜晃（青藍会） 中学女子 根本野々花（青藍会） 小川詩織（里美中） 中嶋彩（太田中） 高星さゆり（里美中） 高校男子 渡辺慧（太田一高） 萩庭匠（太田一高） 岩間悠悟（太田一高） 黒羽廉（太田一高）

となりのまちから

【北茨城市】

第24回雨情の里港まつり

地元の海産物・農産物の即売やバザーのテントが立ち並び、新鮮な山の幸・海の幸が味わえます。また、ステージイベントも繰り広げられ、家族揃って一日中お楽しみいただけます。  
\*駐車場に限りがあります。ご来場にはJR磯原駅・大津港駅、市役所からの無料シャトルバスをご利用ください。

とき 11月4日日  
ところ 大津漁港

問 雨情の里港まつり実行委員会  
（北茨城市商工会 0293

42・2511

【東海村】

第18回東海I-MOのまつり

東海村の特産品であり、健康食品としても親しまれている「サツマイモ」が主役のお祭りです。  
とき 11月23日金 午前8時45分～午後3時40分  
ところ 東海文化センターおよびその周辺

内容 焼いもコーナー/いものつかみ取り/いも掘り探検隊/いも積み競争/キヤラクターショー、吹奏楽演奏等

問 東海I-MOのまつり運営協議会（東海村経済環境部 経済課内 029・282・1711 内線1439）

心配ごとを抱えている方、  
お困りの方はお気軽にご相談ください

新たに民生委員児童委員が委嘱されました

民生委員児童委員は、住民の福祉の増進を図るため、地域の皆さんと福祉事務所、関係行政機関との連絡調整等を担いながら活動します。

次の方が、9月1日付で厚生労働大臣および知事より民生委員児童委員に委嘱されました。

心配ごとを抱えている方・お困りの方は、お気軽にご相談ください。（敬称略）

氏名	住所	電話	担当地域
菊池 堅	上宮河内町	(76) 9596	上宮河内町（東組）
長嶋 秀光	天下野町	(87) 0208	天下野町（6区）

問 社会福祉課社会福祉係（内線 141）





## 事故なし（梨）街頭キャンペーン

9月3日、国道349号三才町交差点で、**事故なし（梨）街頭キャンペーン**が行われました。キャンペーンには、交通安全協会・JA茨城みずほ常陸太田梨部会・太田一高の生徒さんなど約65人が参加し、特産品の梨をドライバーに配りながら「事故に注意してください」と交通安全を呼びかけました。



「安全運転をお願いします！」

## B & G 海洋体験セミナー

B & G財団主催の**平成24年度海洋体験セミナー**が沖縄県で開催され、本市からは小学生2人、中学生2人が参加しました。今年のセミナーでは「ものづくり体験」、「カヌーやヨット・バナナボートによるマリンスポーツ」、「マングローブ観察」、「イルカプログラム」などの海洋性レクリエーションや自然体験活動を4泊5日かけて行い、参加者からは「自然の大きさや美しさを学ぶことができた」「すばらしい友達ができた」などの感想が聞かれました。



カヌー体験

## MTB うっかり八兵衛カップ

9月9日、増井町ふるさとの森で、マウンテンバイクレース**2012 うっかり八兵衛カップ秋の収穫祭**が行われ、難関コースで熱いバトルが繰り広げられました。最初の競技は「お父さん、はやくむいてよ！」親子で交代しながら自転車走り、途中でぶどう・梨の早食い！意外や自転車走るより、ぶどうが強敵だとか。「4時間チームエンデューロ」は数人で4時間以内に何周できるかを競うレースで、ふるさとの森に熱い声援がこだましました。



## 常陸秋そば お花畑の夕べ

9月15日、市観光物産協会金砂郷支部主催の**常陸秋そばお花畑の夕べ**が開催されました。会場となった下宮河内町の市健康センター屋外広場周辺のそば畑は、満開に咲いたそばの花で一面真っ白。日が暮れると竹で作った行灯に灯がともされました。そばや石釜焼きピザなどの模擬店も出店し、訪れた方は和太鼓や久自楽舞などのステージと共に堪能していました。



そば畑の真ん中で

## 救急の日！ “救急フェア” 開催

9月7日、JR常陸太田駅前広場において、**救急フェア**（市消防本部主催）が開催されました。救急の日にちなんで行われたこの催しでは、救急隊員や女性消防団員が心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の講習を行うとともに、救急車の適正利用を呼びかけました。また、高規格救急自動車展览展示され、救急資機材の見学や体験乗車等を行い、参加した皆さんは救急活動への理解を深めていました。いざという時のために



## 佐竹高校野球部員が被災地へ

2月25日、3月31日、8月5日の計3回、**佐竹高校野球部員全員が宮城県の東日本大震災復興支援**に参加し、海岸清掃のボランティアなどを行いました。

野球部キャプテンの皆川さんは、「常陸太田市も震災を受け被害者と思っていましたが、テレビの映像などを見てやはり津波による被害は特別に大きいと感じ、自分たちにも何かできないかと考え野球部全員でツアーに参加しました。海岸にはいまだにガレキが多く打ち上げられ、現状を直接見てこちらとは違うとショックを受けました。土のう袋にガレキを入れて撤去するのは重くて大変でしたが、復興道半ばの状態を見ると、これからも支援を続けていかなければならないと考えています」と話していました。



野球部監督の坂本泰彦教諭  
⑤と皆川翔主将



猛暑の中、懸命に取り組む  
佐竹高野球部員

## 白いお花見会

9月15日、**赤土町**で常陸秋そばの郷まもりたいの主催による**白いお花見会**が開催されました。当日は地元町会の皆さんをはじめ、子ども連れの方や、茨城大・茨城キリスト教大の学生ボランティア、地域おこし協力隊などが参加しました。

赤土町に関するクイズに答えながら散策し、満開に咲くそばの花を見ながら秋の金砂路を満喫しました。

また、散策後には、地元の赤土祭りばやし保存会による力強い太鼓の演奏や「幻の赤土特製おやき」が振る舞われ、さらに、そばの花を使ったしおり作りの体験をして、楽しい1日を過ごしました。



〔写真⑤〕変わった石像だね  
〔写真⑥〕おいしいおやきが焼けたよ

## かなさ笑楽校で映画祭

9月1日、金砂ふるさと体験交流施設の開校式が行われ、施設の愛称として「**かなさ笑楽校（かなさしょうがっこう）**」が募集作品の中から選ばれ命名されました。また、オープニングイベントとして模擬店・竹細工や校庭で開催する16mmフィルムの映画祭「School Cinema Paradise」が開かれ、訪れた卒業生や地域の方々が夜風に吹かれて懐かしい映画を楽しみました。



オープニングイベントには大勢の方が訪れた



竹で作った水鉄砲どこまで飛ぶかな

## さとみ保育園で初の祖父母参観

9月21日、**さとみ保育園**で初めてとなる**祖父母参観**が開催されました。おじいさん、おばあさんを招いた年少・年中・年長組の園児たちは元気いっぱいに歌を披露。敬老の日のお祝いのおまんじゅうを仲良く分け合いながら食べた後は、市レクリエーション協会の方の指導のもと一緒になって体を動かし、工作やゲームを楽しみました。園児たちの弾けるような笑い声と、その姿に目を細めるおじいさん、おばあさん。ほのぼのとした空気に包まれた一日となりました。



笑顔で見守るおじいちゃん



じゃんけんぽん、あいこでしょ！



みんなの努力が花開く

# 花と緑の環境美化コンクールで大活躍

第40回花と緑の環境美化コンクール（大好きいばらき県民会議・県教育委員会主催）において、幸久小（乗原裕校長）が県知事賞を受賞したのをはじめ、赤土老人クラブ（関廣一会長）が県議会議長賞、山田小（寺門茂幸校長）と谷河原高砂会（篠原勝幸会長）が県教育長賞を受賞するなど、本市の団体が数多くの賞に輝きました。

4種類のマリーゴールドやサルビア、アゲラタム…。県知事賞に輝いた幸久小校舎前の花壇には、見る人を感動させる圧倒的なポリウム感がありました。同校は、児童・保護者・職員一丸となった環境美化活動で、

美しい学習環境が整えられています。児童たちは、学年花壇のデザインを考えたり、種をまき苗を作って定植し、水やりや除草作業を行い、積極的に花づくりに取り組んでいます。

乗原裕校長は「花を育て愛する心を培う活動こそ、体験を通して学ぶ生きた教育であり、『命の教育』です。『児童の積極的なかわり』と『地域への貢献』をポイントに実践してきた結果として、このような賞をいただき、とてもうれしく思っています」と、喜びを語ってくれました。

## 表彰団体紹介（敬称略）

- 県知事賞 幸久小（学校の部）
- 県議会議長賞 赤土老人クラブ（団体・職場の部）
- 県教育長賞 山田小（学校の部）
- ／谷河原高砂会（団体・職場の部）
- 県造園建設業協会会長賞 佐都公民館（地域の部）
- 大好きいばらき県民会議理事長賞 天下野三区天寿会（フラワーロードの部）
- ／松平老人クラブ（フラワーロードの部）
- ／町田老社会（地域の部）
- ／天下野五区老友会（団体・職場の部）



<県知事賞> 幸久小学校



<県教育長賞> 山田小学校



<県議会議長賞> 赤土老人クラブ



<県造園建設業協会会長賞> 佐都公民館



<県教育長賞> 谷河原高砂会

<大好きいばらき県民会議理事長賞>



天下野三区天寿会



松平老人クラブ



町田老社会



天下野五区老友会



# ボランティア がんばってます!

第7回



## 点訳ボランティア「ぶどうの木」

### 点字で想いを届けたい

点訳ボランティア「ぶどうの木」は、平成16年10月に発足し、現在会員7名で活動しています。

活動を始めたきっかけは、市社会福祉協議会の点字講座。現在は点字普及活動や視覚障害者に多くの情報を提供するための点字翻訳を行っています。

市社会福祉協議会をとおりて個人の方から依頼された文章も点訳しています。また、小学校の総合的学習の時間での点字の体験学習の指導にも出向いています。

皆さん点字は難しいと思われがちですが、実は覚えれば誰でもできます。小学校の体験学習では、点字の絵本や書籍を肌で感じてもらい点字の仕組みなど学習し、実際に自分の名前をつくる点字体験を行っています。

このような活動から、一人でも多くの方が点字に興味をもっていただき、点字が普及して地域福祉の担い手になってもらえればと思っています。最近では活動の場を広げ、教員の方にも点字指導を行っています。

12月2日に開催予定の、市社会福祉協議会主催によるボランティアまつりに、私たち「ぶどうの木」も参加します。

どなたでも点字体験ができます。会員が少ないのが悩みですが点字に興味がある方はぜひ一緒にやってみませんか。

問市社会福祉協議会 (73-1717)



ぶどうの木の皆さん

「広報ひたちおた」では、ボランティアに取り組んでいる方や団体を応援し、毎月ご紹介していきます!

問情報政策課広報広聴係 (内線 303・304)

# 園児たちのギャラリ一

今月は「あすなろ保育園」で〜す(^o^)/  
年長さん(きりん組)

## ようこそ! あすなろ城へ

お城みたいな運動会の入場門を作ったよ。門の窓からみんなが笑顔でお出迎えをしています。運動会、応援しにきてね!



あべ ひかり ちゃん    むとう そら ちゃん    たなか いよ ちゃん

ひやま りゅうせい くん    おおうち たくみ くん    うえた くるみ ちゃん  
ねもと きわ ちゃん    たかはし みき ちゃん    やまざき そら ちゃん



みやもと さつき ちゃん    とよた じょうじ くん    なめかわ まひな ちゃん

かわしま もみじ ちゃん    まざき かな ちゃん    くまがい はると くん    かしまら あおい ちゃん  
みやもと そらな ちゃん    かさい りく くん



ひたちおおたで楽しく子育て♪

子育て

応援広場



それなら「ママと赤ちゃんの育児相談室」に行ってみて！利用する人がどんどん増えてるみたいだよ！

ねえ、こーたん、赤ちゃんの育て方について聞きたいことがあるんだけど…？



広報広聴係でアルバイト中のカワセミのこーたん



お気軽にご利用ください

## 『ママと赤ちゃんの育児相談室』

ママと1歳までの赤ちゃんを対象に健康相談や子育て・育児についての話し合いなどを行っています。

子育てに関する悩みや不安などを、助産師や保健師など専門のスタッフに相談してみませんか？

◇とき 毎月1回、下記の月曜日に開催します。

10月15日	11月19日	12月17日
1月21日	2月18日	3月18日

午前9時30分～11時30分 時間内は出入り自由です。

◇ところ 総合保健センター プレイルーム

◇内容 助産師・保健師への相談（育児・母乳・離乳食・遊び方・ママの体調など健康に関することなど）  
身長・体重の測定  
親子交流

◇持ち物 母子健康手帳、おむつ、バスタオル、授乳に必要なもの

◇参加料 無料

申し込みは不要です。計測のみの参加でも大丈夫です！

問健康づくり推進課（73-1212）

スタッフの声  
体重測定だけでもどうぞ



早川沙矢香  
保健師

鈴木里依子  
保健師

赤ちゃんが小さいうちは、お母さんの不安や悩みも多いのではないのでしょうか。ミルクや離乳食、体重や予防接種のことなど…。そんな悩みを聞き、アドバイスしながら、お母さんたちの交流のお手伝いもしています。赤ちゃんが生まれたばかりのお母さんたちに、外出する第一歩として使ってもらえればと思っています。



表紙によせて 9月中旬、「常陸秋そば」発祥の地・赤土町ではそばの花が満開。小さく可憐な花が咲き誇る風景は、秋の訪れを告げる風物詩になっています。近づくると意外に独特の香りが…。食欲の秋、おいしいおそばを召し上がれ(^o^)

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690 72-3111 (内線303・304) Fax72-3002

\* 広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>